

最近の管内経済概況

(2020年2月の経済指標を中心として)

～ 足踏み状態となっており、足下で新型コロナウイルスの影響がみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、一部が弱い動きとなっている。
- 観光は、悪化しつつある。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、足踏み状態となっている。
- 企業倒産は、件数は同数、負債総額は減少している。

全体として、管内経済は、足踏み状態となっており、足下で新型コロナウイルスの影響がみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルスの影響の拡大、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2020年4月13日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2020年4月現在)

発表月	2019年11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総括判断	一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている	一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている	一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている	一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている	一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている	<u>足踏み状態となっており、足下で新型コロナウイルスの影響がみられる</u>	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	一進一退となっている	一進一退となっている	一進一退となっている	<u>一部に弱い動きがみられる</u>	一部に弱い動きがみられる	<u>一部が弱い動きとなっている</u>	
観光	一部に弱い動きがみられる	一部に弱い動きがみられる	一部に弱い動きがみられる	一部に弱い動きがみられる	一部に弱い動きがみられる	<u>悪化しつつある</u>	
公共工事	増加している	増加している	増加している	<u>減少している</u>	<u>増加している</u>	増加している	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	<u>弱い動きとなっている</u>	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	<u>足踏み状態となっている</u>	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	件数は同数、負債総額は減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※企業倒産は、3月の発表から他の項目と最新のデータ月を統一。このため、3月発表は2月発表と同じ内容を掲載。

 上方修正  据え置き  下方修正

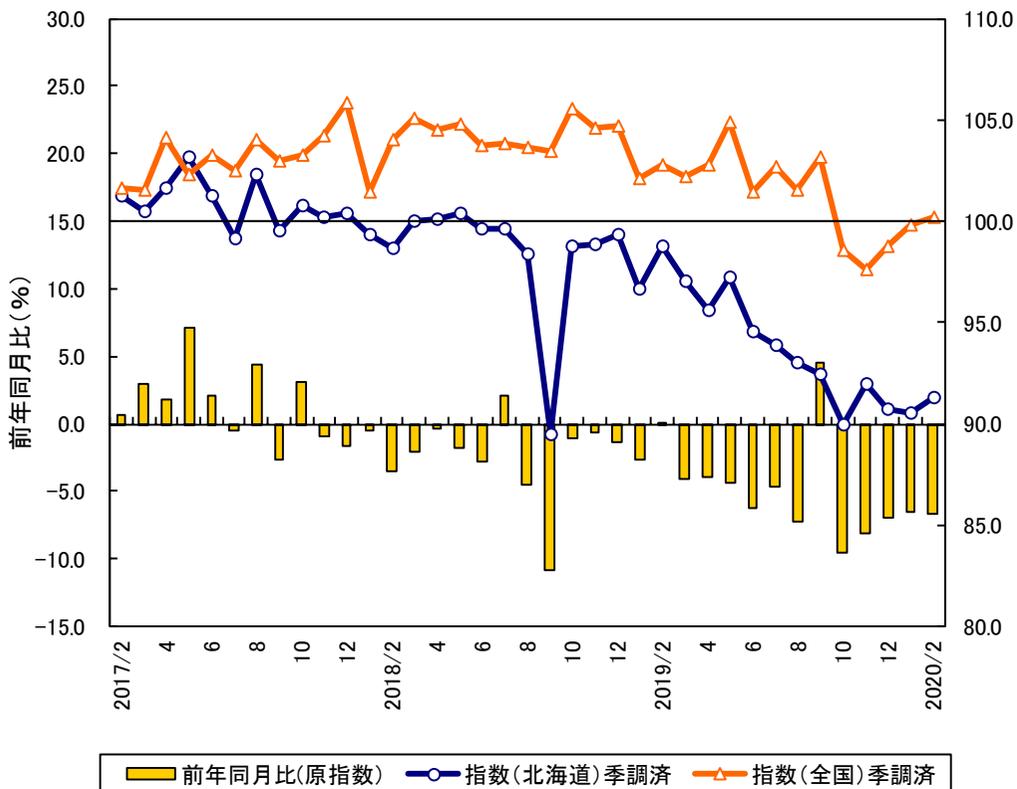
生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

2月の鉱工業生産は、前月比+0.9%と3か月ぶりに上昇した。

上昇業種は、輸送機械工業、金属製品工業、鉄鋼業など9業種となった。低下業種は、一般機械工業、電気機械工業など6業種となった。

<2月> 季節調整済指数	
北海道(速報)	91.3(前月比+0.9%)
全国(速報)	100.2(前月比+0.4%)

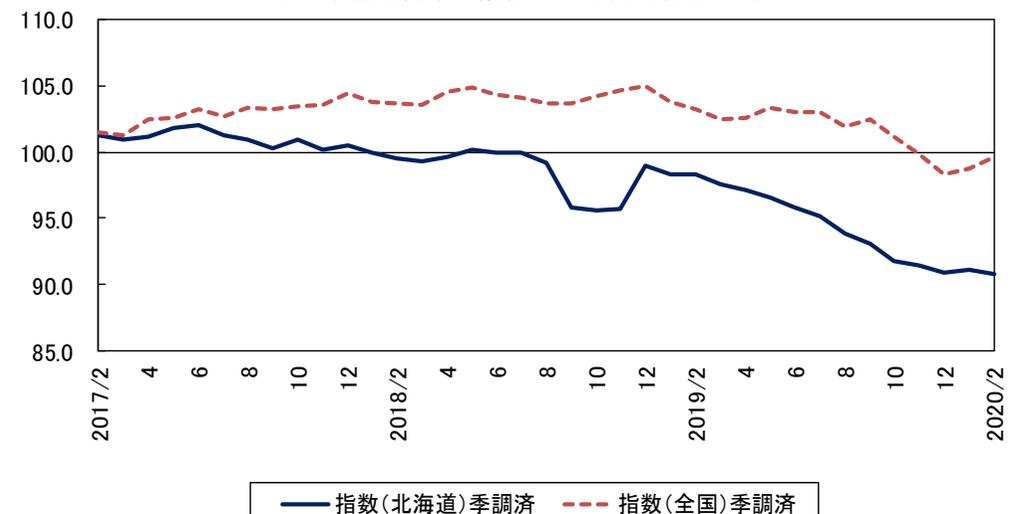
鉱工業生産指数(2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- 自動車部品は、昨年末の生産ラインの見直しで稼働率を落としていた分の生産を戻した。(輸送機械工業)
- 春節以降、中国の関連工場が操業を停止しており、中国向け需要が減少したため、電磁リレーの生産が減少した。(電気機械工業)
- 新型コロナウイルスの影響により外出を控える動きが出ていることから、ガソリンが需要減となっており、生産も計画を下回っている。(化学・石油石炭製品工業)
- 観光客の大幅な減少により、取引先が生産ラインを停止させているため、今後は当社も菓子用の缶の生産調整を行う予定。(金属製品工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

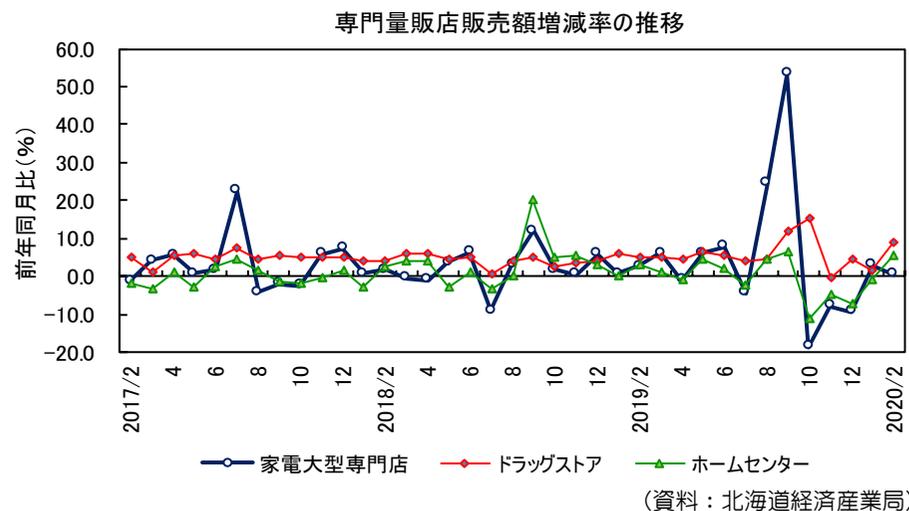
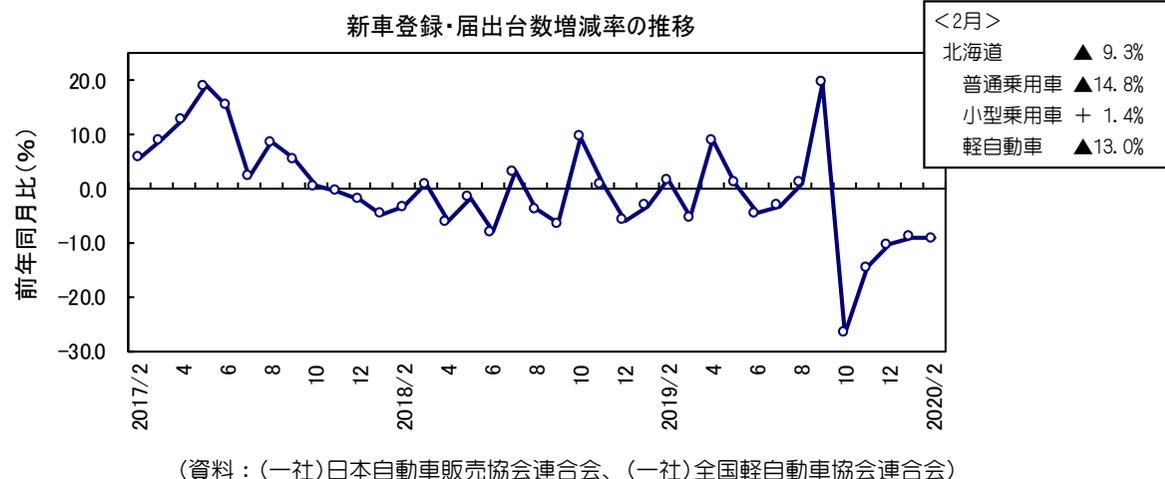
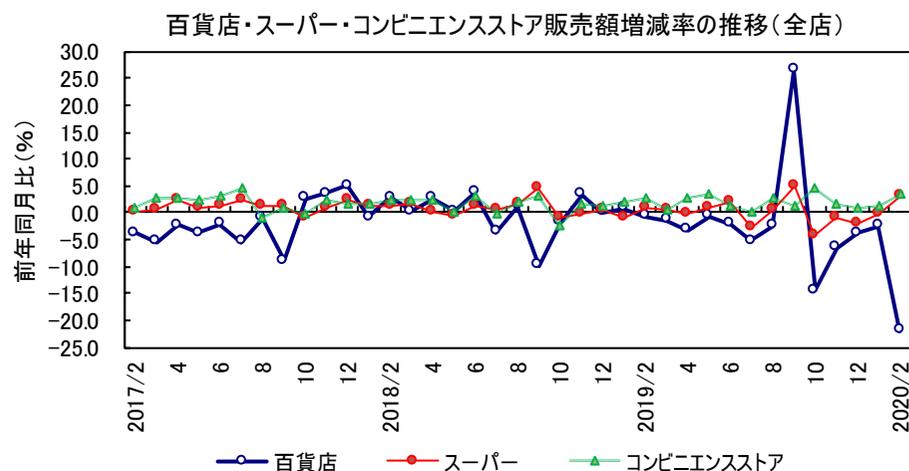


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 一部が弱い動きとなっている ～

2月の個人消費は、百貨店、新車販売は前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

- 百貨店は、外出自粛による客数の減少や免税売り上げの減少により、前年同月比▲22.0%と5か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、うるう年効果に加え、飲食料品や日用品の買いだめの動きなどにより、同+3.0%と5か月ぶりに前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.4%と16か月連続で前年を上回った。
- 家電販売は、同+0.4%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+9.1%と3か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+5.4%と5か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同▲9.3%と5か月連続で前年を下回った。

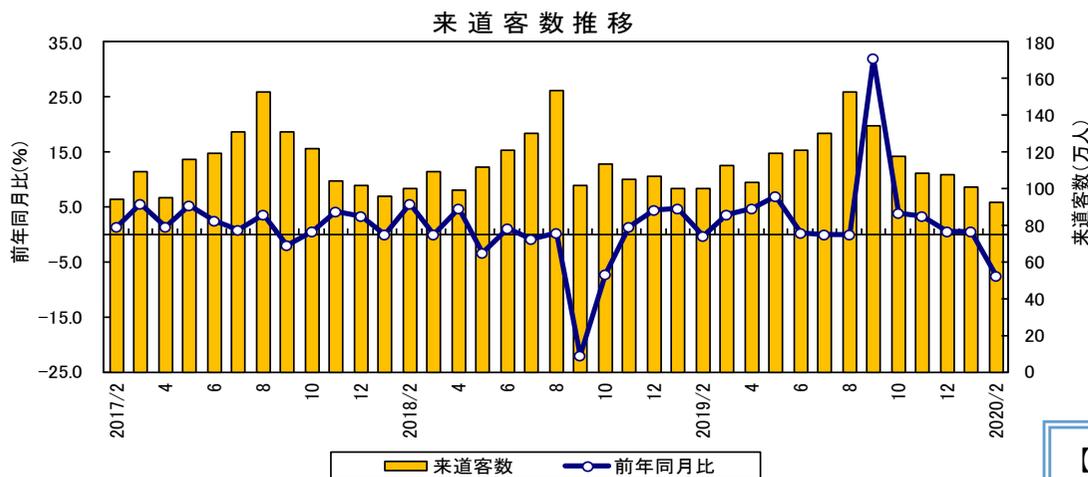


【ヒアリング内容】

- 新型コロナウイルスの影響で外国人客が激減し、不要不急の買い物を控える動きにより国内客も減少したことから、高額品や化粧品、衣料品などの売り上げが大きく落ち込んだ。(百貨店)
- 外出を控えるために、来店回数を減らして買いだめをする動きとなった。緊急事態宣言が出された月末は、「巣ごもり需要」などにより、パスタや冷凍食品などの食料品やトイレットペーパーなどの日用品の売り上げが一気に伸びた。(スーパー)
- 緊急事態宣言が出されて以降は、経験をしたことのないような売り上げの落ち込みとなっている。(百貨店)

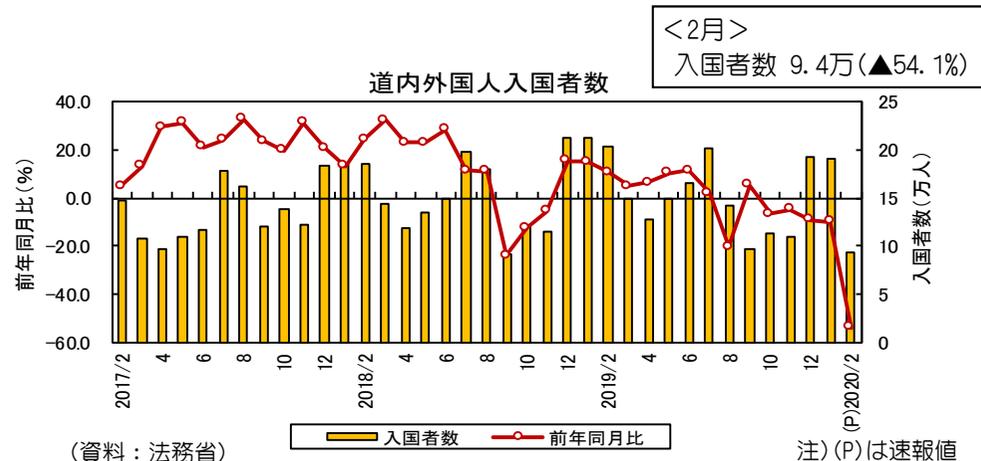
観光 ～ 悪化しつつある ～

2月の来道客数は、前年同月比で▲7.5%と6か月ぶりに前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同▲54.1%と5か月連続で前年を下回った。



<2月> 来道客数 92.2万人 (▲7.5%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



<2月>
 入国者数 9.4万(▲54.1%)

(資料：法務省)

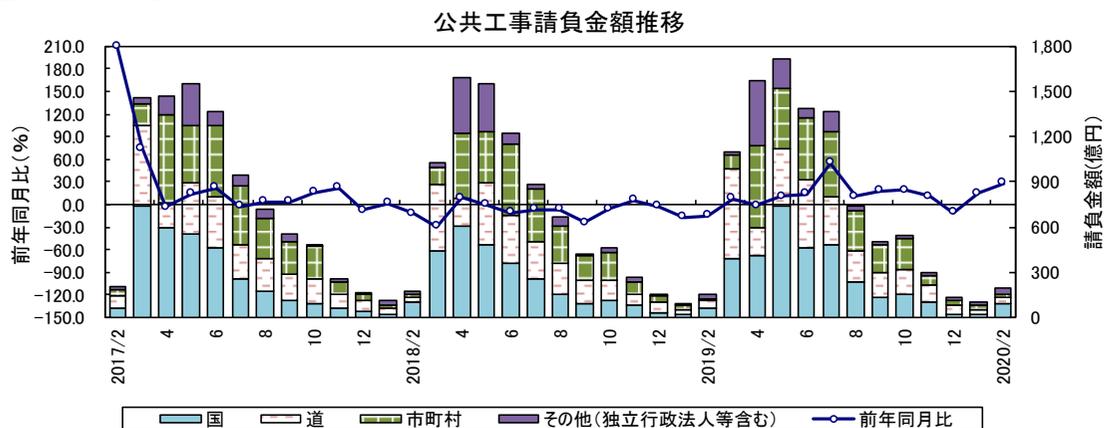
注) (P)は速報値

【ヒアリング内容】

- ・新型コロナウイルスの影響で、2月の宿泊実績は前年比で3割減。さっぽろ雪まつりの来場者数の減少に連動して落ちた。(宿泊業)
- ・緊急事態宣言が出されている間は、観光客はほとんど見られず、ホテルや飲食店などは深刻な状況。(関係機関)

公共工事 ～ 増加している ～

2月の公共工事請負金額は、道が前年を下回ったが、国、市町村が前年を上回り、前年同月比+27.8%と2か月連続で前年を上回った。



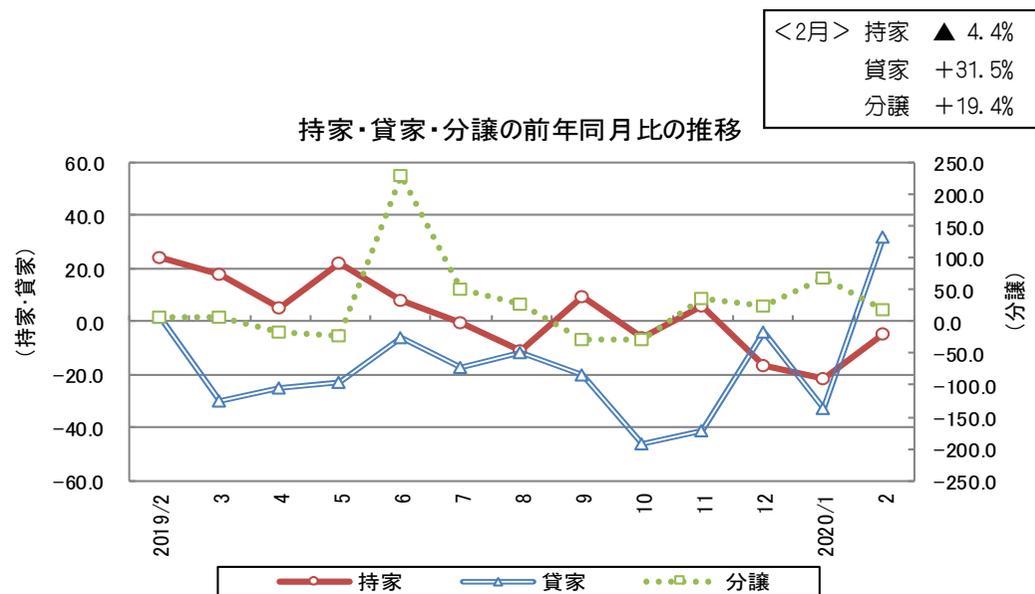
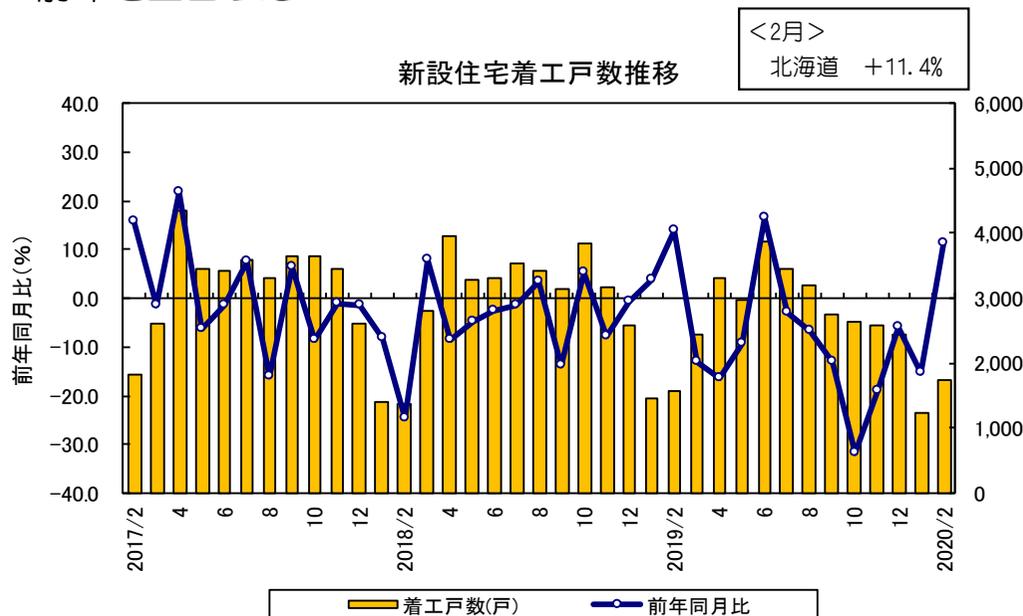
<2月>
 北海道 +27.8%
 (内訳)
 国 +40.4% 道 ▲10.8% 市町村 +53.8% その他 +47.9%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

2月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家と分譲が前年を上回り、前年同月比+11.4%と8か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2019年度の設備投資計画は、全体で前年度比+8.6%と3年連続で前年度を上回った。なお、2020年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年4月1日発表

	2019年度	2020年度計画
北海道	+ 8.6%	▲ 1.3%
製造業	+ 20.6%	+ 13.2%
非製造業	+ 3.0%	▲ 9.3%
全国	+ 2.7%	▲ 0.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年3月12日発表

	2019年度	2020年度
全産業	+ 17.8%	▲ 7.6%
製造業	+ 27.1%	▲ 12.9%
非製造業	+ 13.6%	▲ 5.4%

※数値は対前年比増減率。

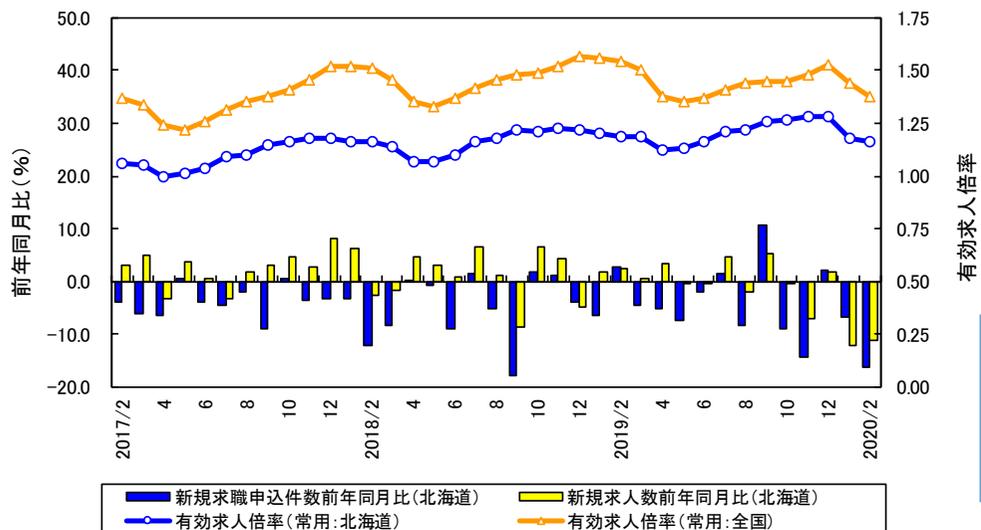
注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 足踏み状態となっている ～

2月の有効求人倍率は、1.16倍と前年同月差0.03ポイント減少し、2か月連続で前年を下回った。

有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



< 2月 >			
北海道	有効求人倍率 (常用)		1.16倍
	新規求人数 (前年同月比)	▲	11.3%
	新規求職申込件数 (前年同月比)	▲	16.2%
全国	有効求人倍率 (常用)		1.38倍

(資料：厚生労働省、北海道労働局)

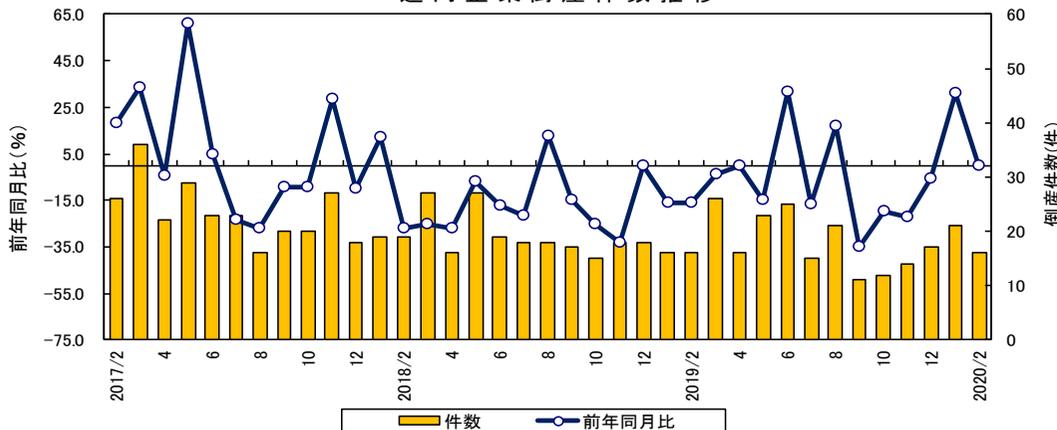
【ヒアリング内容】

・新型コロナウイルスの影響で、経営状況が思わしくなく、現状の雇用を維持するのが精一杯で、新規の求人を出せる企業が減ってきている。(関係機関)

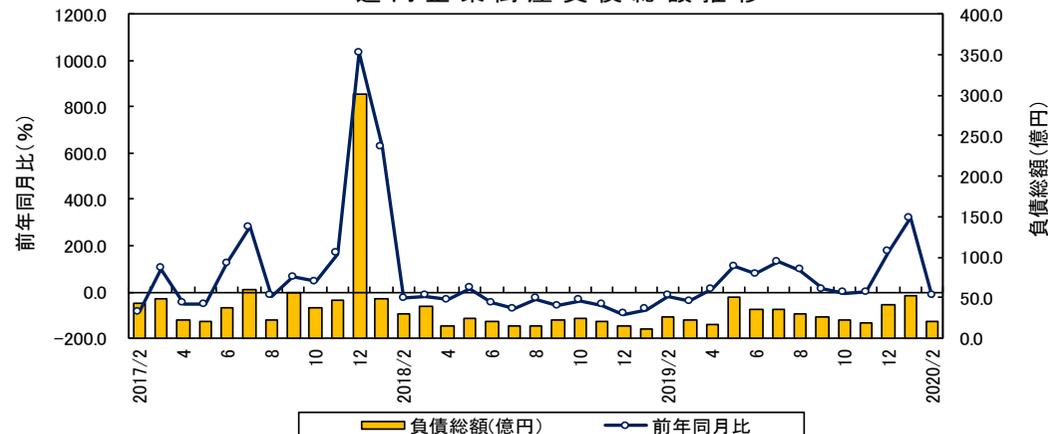
企業倒産 ～ 件数は同数、負債総額は減少している ～

2月の倒産件数は16件で、前年同月と同数となった。また、負債総額は21.2億円で、同▲17.1%と3か月ぶりに前年を下回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料：(株)東京商工リサーチ)